

①個別データシート

種類 輸送

英名 contracted omnibus transport

整理番号: JP525079

分類 道路旅客運送業

和名 貸切バス輸送

・GHG排出量 3.50E-02 kg-CO2e/人km

・情報源分類 統計分析データ

・技術記述子 貸切バスによる旅客輸送

・技術の内容と機能 日本における、営業用旅客自動車による輸送のうち、乗車定員11人以上の貸切バスによる旅客輸送を対象にしている。バス事業者などによる輸送である。

・情報源

参考:用語の解説

- ・旅客自動車とは、人の運送の用に供する自動車で乗用車及びバスをいう。
 - ・営業用車とは、他人の求めに応じて貨物又は旅客を輸送する自動車で、トラック事業者、バス事業者、ハイヤー・タクシー事業者、軽車両等運送事業者などが保有する自動車をいう。
- 注. ここでは旅客自動車のうち、乗車定員11人以上をバス、10人以下を乗用車として区別している。

国土交通省鉄道局,“自動車輸送統計調査”, (オンライン), 入手先<<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/jidousya/jidousya.html>>

・データ作成者コメント

- ・“自動車輸送統計調査”では旅客自動車のうち営業用は、バス(乗車定員11人以上)(乗合と貸切の区分あり)と乗用車(乗車定員10人以下)に分けて統計数値が計上されている。ここでは乗車定員11人以上の貸切バスによる旅客輸送を対象にしている。
- ・“自動車輸送統計調査”の平成12年度の業態別・車種別輸送人キロおよび業態別・車種別燃料消費量より営業用乗用車の輸送人キロ、燃料消費量を得て原単位化した。

・適用範囲

日本における、乗車定員11人以上の営業用旅客自動車のうちの貸切バスによる旅客輸送である。バス事業者などによる貸切バスの輸送のことである。
乗合バスによる輸送とは異なる。
また、乗車定員10人以下の場合は営業用乗用車の扱いになり、この貸切バスによる輸送とは異なる。

・システム境界

資源採取から輸送サービスまでを範囲とする。輸送プロセスのため、輸送される製品は含まない。

・配分

共製品(サービス)なく配分なし

・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、熱エネルギー、軽油(燃焼・軽油)由来のCO2(化石資源由来)、である。

②入出力データ

区分	フロー区分	品目名	連鎖した品目名	公開整理番号	数値	単位	備考
ユーティリティ	中間フロー	入力 燃焼・軽油	燃焼・軽油	JP111013	1.23E-02	L	
製品	中間フロー	出力 貸切バス輸送	貸切バス輸送	JP525079	1.00E+00	人km	